

一般社団法人 日本神経精神薬理学会  
第 66 回理事会議事録

日 時 2017 年 5 月 20 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00  
場 所 コンベンションルーム AP 品川 会議室「E」  
(〒108-0074 東京都港区高輪 3-25-23 京急第 2 ビル 10 階)  
出席理事 池田和隆、中込和幸、石郷岡純、曾良一郎、新田淳美、橋本亮太、古屋敷智之、山田清文、  
大隅典子、大森哲郎、菊地哲朗、成田年、南雅文、山脇成人 以上、16 名中 14 名出席  
欠席理事 井上猛、宮田久嗣  
出席監事 松田敏夫 以上、2 名中 1 名出席  
欠席監事 西川 徹  
出席委員長 尾崎紀夫、徳山尚吾、宮川剛  
欠席委員長 内田裕之、齋藤卓弥、渡邊衡一郎

議 長 池田和隆

上記のとおり理事の過半数の出席があり、本会議は有効に成立した。

議 案 :

報告事項

1. 前回理事会 (第 64 回および第 65 回理事会議事録)、持回り理事会議決事項の確認がなされ、異議なく承認された。
2. 第 47 回年会 (第 39 回日本生物学的精神医学会) と合同開催) 準備状況報告 (南会長)  
南会長から年会概要について報告がされた。  
第 47 回年会 (第 39 回日本生物学的精神医学会と合同開催)  
テーマ : 脳と心のフロンティア ~ 「知」と「療」の連携  
場 所 : 札幌コンベンションセンター (北海道)  
日 時 : 2017 年 9 月 28 日 (木) ~ 30 日 (土)  
会 長 : 南 雅文 (北海道大学大学院薬学研究院薬理学研究室)
  - ・「評議員限定セッション」が 9 月 27 日に予定されている。
  - ・シンポジウムは 30 件予定されている。
  - ・その他、EGUIDE 研修コース、認知機能障害を測定するトレーニングセミナー、精神科専門薬剤師セミナーなどが実施される予定である。
3. 各種委員会報告  
以下、提出資料に基づき、各種委員会報告がされた。

a. 執行委員会 (池田委員長)

2 回の会議およびスカイプ会議を以て、学会運営状況の確認と新規案件の検討などを行っている。特に、機関誌のリニューアル方針の検討、「児童思春期神経精神薬理タスクフォース」の創設、NHK の睡眠薬関連番組への対応、AMED CiCLE 事業への応募準備、評議員限定セッションの企画、クロザピン規制緩和交渉の方針検討、などを行ってきたことが報告された。また、菊地委員より産学官連携推進戦略の一環として実施した企業の学会へのニーズ調査について報告された。

b. 総務委員会 (山田委員長)

2016 年 10 月 1 日から 2017 年 4 月 30 日までの会員動向について以下の通り報告された。  
会員数 名誉会員 30 名

功勞会員 35名  
評議員 267名  
一般会員 763名  
学生会員 168名  
賛助会員 14社

新入会 78名

退会 28名

また、名誉会員の高折修二先生がご逝去されたことが報告され、評議員会で黙祷を捧げることとなった。

d. 財務委員会(大隅委員長)

中間報告について、審議事項にて審議された。

e. 広報委員会(橋本委員長)

HPの更新について学会レポートなどが滞っているが、概ね順当に運用されている。

また、E-mail配信運用マニュアル、HP更新プロトコルの運用、取材対応の原則、ガイドラインの転載許可規程等を作成し、運用している。

その他、クロザピンに関する要望の検討や、薬剤師の入会促進パンフレットの作成などを行ったことが報告された。

g. 国際学術委員会(新田委員長)

AsCNPについて、2017年4月27日～29日にバリにてAsCNP 2017が開催され、その際にBoard Meetingが開催されたこと、AsCNP 2019について福岡で開催されるので本学会として支援する予定であることなどが報告された。

また、山脇委員より、CINP 2016が成功したことで連続開催されたJSNPの存在価値が認められたこと、CINPの選挙の予定などが報告された。

h. 学術賞選考委員会(曾良委員長)

1) JSNP Excellent Presentation Award for AsCNP 2017

10名の応募に対し、18件の応募があり、選考の結果10名を受賞者として決定した。

授与式はAsCNP 2017期間中に実施された。

2) 2017年度学術奨励賞の件

5月31日を締切として募集していることが指摘され、協力が要請された。

k. 企画委員会(井上委員長欠席により池田理事長)

井上委員長欠席により、池田理事長より、企画委員会内でアンケートが実施され、他学会との連携強化、社会貢献・情報発信の推進、会員増加のための施策、若手研究者支援に関する企画などの提案があった事が報告された。

j. トランスレーショナル・メディカル・サイエンス委員会(中込委員長)

企業からの依頼について、依頼があった件について対応不可能な件であったため断った事が報告された。

k. 中枢専門薬剤師あり方検討ワーキンググループ委員会(徳山委員長)

薬剤師会員の増加を企図して、入会案内のポスターを作成し、委員に配布し、関係各所および薬剤師への配布を実施している。また、ポスターは本学会HPに掲載されることとなった。

l. 統合失調症ガイドライン作成タスクフォース(石郷岡委員長)

1) ガイドライン改訂1として、倫理的および科学的適格性が損なわれている論文が引用文とされていることについて、該当する論文を削除した。

2) ガイドライン改訂2として上記修正に伴う前後の整合性を修正したものが提示され、承認

された。

3) ガイドライン簡易版の作成を準備中であること

4) 橋本委員より、ガイドラインの普及・教育・検証活動として、EGUIDE 講習会を実施し、成果を得ていることが報告された。

m. Nomenclature ワーキンググループ委員会（内田委員長欠席により池田理事長）

2016年5月14日に開催された Neuroscience-based Nomenclature (NbN) タスクフォース会議に出席されたこと、ECNP と連携し日本語版 NbN を作成したこと、その告知を日本神経精神薬理学雑誌に投稿・掲載したことなどが報告された。

n. 薬事委員会(渡邊委員長欠席により池田理事長)

本学会として厚生労働省に働きかけており、必ずしも禁止が必要ではない薬のリスト化などを行っている。

p. COI (宮田委員長欠席により池田理事長)

特に報告事項がないことが説明された。

o. 会員促進 (宮川委員長)

Facebook を活用している配信内容を配信していること、また、Facebook にはグループ機能もあるので、委員会活動などで活用いただきたい旨報告された。また、今後は Twitter も活用する予定である。

l. 先端基盤 (成田委員長)

会員増加と横断的な交流を企図し、活動していることが報告された。

l. 児童思春期 (齋藤委員長欠席のため池田理事長)

児童の領域の薬の使い方が特殊であるため、検討する委員会が必要との提案があり、設立することとなったことが報告された。

f. 倫理委員会(尾崎委員長)

個人情報保護法等の改正に伴い見直された研究指針について説明があり、海外への試料・情報の提供について、提供先の者が基準に適合する体制が整備されていることが必要とされており、米国など未整備の国への対応について問題であること、症例報告等の扱いについて、「症例報告」や「ケースレポート」は医学系指針の対象となっておらず「十分な匿名化が困難な場合は本人の同意が必要」とされており、基本的に本人の同意が必要とされる流れとなっていることが報告された。

現状としては日本精神神経学会が定めた「症例報告を含む医学論文及び学会発表における患者プライバシー保護に関するガイドライン」に従っていくことが示唆された。

2017年度年会については、改正指針の公布・施行に関わるスケジュールにおいて猶予期間ではあるが、久住 BP 会長の方針に従って、実施することとなった。

第46回年会開催報告 (池田前大会長)

収支計算書が示され、583名の参加を得て成功裏に終了したことが報告された。

余剰金 265万円は AsCNP 2019 の支援に充てることが承認された。

第48回年会開催準備状況報告 (中込次期会長)

以下の通り準備状況について報告された。

テーマ: Development Innovation in Pharmacology

日時: 2018年11月14日(水)~19日(金)

会場: 東京ドームホテル(東京都)

会長: 中込 和幸(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター)

## 審議事項

### 1. 2017年度中間報告について（大隅財務委員長）

2017年度の中間報告について、適切に処理されていることが報告された。

### 2. 名誉会員・功労会員推戴の件（山田総務委員長）

候補者が以下の通り報告され、承認された。

名誉会員： 大熊誠太郎、山本経之

功労会員： 赤池昭紀、朝倉幹雄、荒木博陽、國芳雅広、越川憲明、高田孝二、中山和彦

### 3. 新評議員の承認の件（山田総務委員長）

以下の26名が推薦され、審議の結果、新評議員として評議員会へ推薦することが承認された。

（敬省略）

山田 尚登（滋賀医科大学精神医学講座）	推薦：池田和隆／中込和幸
篠崎 和弘（和歌山県立医科大学神経精神医学講座）	推薦：池田和隆／中込和幸
中村 祐（香川大学医学部精神神経医学講座）	推薦：池田和隆／中込和幸
掛山 正心（早稲田大学人間科学学術院）	推薦：池田和隆／中込和幸
山中 章弘（名古屋大学環境医学研究所）	推薦：池田和隆／中込和幸
渡邊 衡一郎（杏林大学医学部精神神経科学教室）	推薦：池田和隆／中込和幸
川崎 康弘（金沢医科大学精神神経科学）	推薦：池田和隆／中込和幸
鈴木 道雄（富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座）	推薦：池田和隆／中込和幸
内村 直尚（久留米大学医学部神経精神医学講座）	推薦：池田和隆／中込和幸
橋本 浩一（広島大学医歯保健学研究院神経生理学）	推薦：山脇成人／池田和隆
高橋 良輔（京都大学医学研究科・臨床神経学）	推薦：池田和隆／中込和幸
相澤 秀紀（広島大学医歯保健学研究院）	推薦：池田和隆／山脇 成人
池田 学（大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室）	推薦：池田和隆／中込和幸
岩波 明（昭和大学医学部精神医学講座）	推薦：池田和隆／中込和幸
白山 幸彦（帝京大学ちば総合医療センター・メンタルヘルス科）	推薦：池田和隆／中込和幸
木口 倫一（和歌山県立医科大学医学部薬理学教室）	推薦：徳山尚吾／岸岡士郎
塩入 俊樹（岐阜大学大学院医学系研究科精神病理学分野）	推薦：池田和隆／中込和幸
柴崎 真裕（星薬科大学薬理学教室）	推薦：成田年／森友久
葛巻 直子（星薬科大学薬理学教室）	推薦：成田年／森友久
吉野 相英（防衛医科大学校）	推薦：井上猛／池田和隆
石原 武士（川崎医科大学精神科学）	推薦：池田和隆／中込和幸
河原 博（鶴見大学歯学部歯科麻酔学講座）	推薦：河原幸江／池田和隆
山田 了士（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学）	推薦：池田和隆／中込和幸
石田 康（宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野）	推薦：池田和隆／中込和幸
宮岡 等（北里大学医学部精神科学）	推薦：池田和隆／中込和幸
照沼 美穂（新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生化学分野）	推薦：池田和隆／小泉修一

### 6. 新入会希望者承認の件（山田総務委員長）

2016年10月1日から2017年4月30日までに、正会員58名、学生会員20名、合計78名の入会申込があったことが報告され、全員が承認された。

### 7. 新電子ジャーナルの件（宮川編集委員長）

#### （1）新電子ジャーナルの立ち上げについて

会員アンケートの結果（回答者107名）APC20～25万と仮定すると投稿数51件、APCを半額しても64件となり、学会がAPCを補助することには意義があまりないと想定される。また、新学会誌名について「Neuropsychopharmacology Reports」が大幅に多かったことが報告され、決定された。また、既存の学会誌は廃止し、PubMedについては継続することとなっている。

(2) 出版社について

オープンアクセスの取り組みや出版補助体制の観点から、Wiley と BioMed Central (BMC) を出版委託先として想定し、比較した結果が報告された。比較した結果、BMC の場合、論文数が増えれば増えるほど学会負担が増すビジネス形態であること、編集事務サポートの体制が Wiley の方が充実していることなどから、Wiley を出版委託先として決定し、評議員会に諮ることとなった。

(3) 編集委員会への委任について

詳細については、編集委員会に委任することとし、1 週間を目途に理事会で E メールにて意見交換をすることとなった。

8. CiCLE 事業への参加について (山脇 PPP s TS 委員長・中込委員)

山脇 PPP s タスクフォース委員長より、PPP s タスクフォースの活動報告と産官学連携の推進について説明があり、CiCLE 事業への参加の経緯について報告された。

中込委員より、日本医療研究開発機構 (AMED) の医療研究開発革新基盤創成事業 (CiCLE 事業) に「既存臨床データの新薬開発等への応用」を企図し学会が複数企業と契約し臨床試験をデータベース化する事業を申請することが提案された。データ管理・解析業務などは京都大学および NCNP に委託する予定で、複数試験の統合解析することが想定されている。

CiCLE 事業は AMED から無利子の貸与を受け展開するののものであり、返済には複数企業からの寄付金を充てる予定である。

事業主体を本学会とすることと、来年度予算として収支マイナスを見込む 100 万円を支出することについて協議され、概ね承認された。

9. 日本学術会議の賛助会員加入について (池田理事長)

日本学術会議からの賛助会員 (年会費 50,000 円) への加入依頼について報告され、承認された。

10. 学会 E メールアドレスの変更について (池田理事長)

事務局委託先でのセキュリティ強化により事務局 E メールアドレスを現行の jsnp@asas.or.jp より jsnp@asas-mail.jp に変更する旨説明され、移行期間 1 年として実施されることとなった。

平成 29 年 5 月 20 日

一般社団法人 日本神経精神薬理学会 理事会

議長 代表理事 池田 和隆

出席理事 中込 和幸

出席理事 石郷岡 純

出席理事 曾良 一郎

出席理事 新田 淳美

出席理事 橋本 亮太

出席理事 古屋敷 智之

出席理事 山田 清文

出席理事 大隅 典子

出席理事 大森 哲郎

出席理事 菊地 哲朗

出席理事 成田 年

出席理事 南 雅文

出席理事 山脇 成人

出席監事 松田 敏夫